

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児者余暇生活支援センターじらふ・泉北		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日		2025年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 9月 9日		2025年 9月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースがかなり広く、幅広い企画が可能であること	・利用者さんの特性に応じた部屋の使い分けを行っています(集団と個別の使い分け) ・室内で過ごしていても、トランポリンやキャッチボールなどの軽運動を取り入れています。	室内が広い故に構造化が難しい場合もあります。現在は必要な場所にパーテーション(可動式)を設置して、部屋を区切るなどしていますが、数が十分でなかったり、パーテーションの劣化なども見られます。備品等の環境整備も行っていきます。
2	専門的な支援を取り入れていること(PECS®)	堺市内の放課後デイでは、2か所しか取り入れていない支援法です。正しい知識と経験も必要なため、こまめにスタッフ研修、勉強会を行い、事例検討や報告等も行っていきます(法人内等で)	新しいスタッフが増えるなどすると、より丁寧な勉強の場や引継ぎが必要です。常に学びを姿勢を忘れずにさまざまな外部研修にも参加していきます。
3	支援に対する保護者様の高い満足度、また保護者様との良好な関係性	相談や不安事などあるような場合には、できるだけ迅速に対応できるように心がけています。上記2のように、専門的な知識が必要な場合もありますので、個別支援計画見直し時期以外での懇談も行うようにしています。	引き続き、苦情や要望、相談などには迅速かつ丁寧に対応できるように心がけます。また、対応できるスタッフの数も増やせるように、日々の支援の学びを続けていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの公表が一部のみしかできていないこと	・作成すべきマニュアルの多さに追われ、適切な見直し更新ができていません ・月に1度発行している「じらふ泉北だより」内では、簡単にBCPIについて説明を行いました、それ以外の膨大な情報をどのようにして家族にお知らせすべきか、検討しております。	当事業所では、公式LINEを使用しております。公式LINEのリッチメニューから、各種マニュアルを見られるように、現在作成をすすめており、年内を目途に実施予定です。紙媒体でない為かさばらず、見たい時に見たいものを見られる、という形を取れると考えています。
2	きょうだい児支援、保護者会を実施できていないこと	昨年度に引き続き、保護者会などは実施できていません。どのような形で実施できるのか、実施すべきか、まだ模索しているという段階です。	他事業所様で取り組みされているところがあれば、是非学びたいと思いますが、あまり耳にしたことがありません(堺市外の事業所では、本人+家族参加OKの夏まつりを実施したデイさんもあるが)。実施されている事業所があれば、まずはどういった形でどんな内容で実施されているのかを知りたいです。
3	災害時訓練の実施状況を保護者が把握していないこと	避難訓練、BCP訓練(職員のみ)などは必ず毎年行っておりますが、報告等はFacebookで写真を掲載して報告する、じらふだよりで写真掲載で報告することがほとんどです。	Instagramのご要望もあるので、Facebookとの運動や、利用者さんの様子だけでなくスタッフのとりくみの内容・様子も、SNSやお便りで発信していきたいと思っています。
4	児童発達支援センターさんとの連携がとれていないこと	児童発達支援センターの機能強化が整備されましたが、実際どのように機能強化されたのか、具体的にどんなことをしているのか、情報が入ってきません。それ故、どのように連携がとれるのかも検討できていません。	まずは児発センターとのつながりづくりのきっかけが欲しいです。派遣リハなどをしており、放デイなども活用できると聞いているので、専門の訓練士を招いての研修など、検討してみたいと思います。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障がい児者余暇生活支援センターじらふ・泉北

公表日 2025/10/16

利用児童数 18

回収数 14

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				・家のように広くて2Fもあるので。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2		1		国基準の人数は満たしておりますが、手厚い支援や個別支援をととなると、手が回らない日もあります。(職員の急な休みなど)ドライバーの採用により、運転スタッフの配置も減り、その分支援に入ることができており、今後も必要に応じて人員補給を検討します。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		1		利用者さんへの伝達の仕方としては、視覚的な情報を用いるようにしています。建物の構造自体は、バリアフリー化はしていません(階段、段差あり)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1			・見る機会がないので(デイさんを)	集団活動スペース、個室スペースを複数と、目的に応じて使い分け出来るようにしています
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				・子供は無理なく、支援を受けていると思います。	スタッフ研修や勉強会を月に複数回行い、支援の質向上に向けてとりにくんでいます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				・子供の様子をよく見て設定されていると思います。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	1	1	5	・子ども食堂を利用している。 ・地域の子とは交流がありません。他の子ども遊ぶのはいかなく、知らないだけでも知れないので。	・地域にある公園に出かけた際には、そこを利用する地域の子どもたちと交代で遊具遊びをしたりと交流する機会があります。 ・ご意見を頂いているように、月に1度子ども食堂を利用し、食堂のボランティアさんとも顔なじみになったり、地域住民さんにも声をかけて頂いています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		1	・私が忙しいのもあったり夫婦ともに、ベクスはなかなか取り入れていません。スケジュールははっています。 ・保護者の会が定期的にあれば参加しやすいかと思っています。	必要に応じて、懇談やレッスン練習の時間を設けるなどしておりますが、積極的に行ってはいません。 研修会やイベントの情報などは、お知らせの配布や公式LINEでの発信を行っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができてきていると思いますか。	14					
	16 定期的、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1				個別支援計画作成時の懇談以外でも、必要に応じて別途懇談の場を設けるようにしています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1			・子供に合わせて配慮があると思います。 ・見る機会がないので、わかりません。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	1	6	・保護者同士の交流はあってもきょうだい向けというのがあまりない気がします。	現在、家族会は実施できておりません。じらふで支援に取り入れておりますPECS@について、堺PECS同好会の運営のお手伝いを事業所としても行っており、この同好会が保護者交流や情報交流、学びの提供という役割をにないつつありますが、PECS@ユーザーさん以外については、活動の機会を保障できていません。また、きょうだい児支援についても同様に、取り組みはできていません。

	19	ごどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ごどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				・急に用が入ってしまうことがあるのですが、帰りの時間変更して頂いたりして助かっています。 ・急な申し入れにも対応してもらえ頼りにさせて頂いています。	
	20	ごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14				・子供の家以外の情報が分かり助かります。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をごどもや保護者に対して発信されていますか。	14				・長居のじらふさんの様なインスタがあると見たいです。	現在FacebookとHPのみ運用していますが、インスタとの運動なども視野にいれてはいます。また、法人HPも見にくい、古い、とお声を頂いており、現在リニューアルにむけて進めています(掲載写真等の撮影は済み)
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			3	・台風が来る際には前日には必ず連絡をくれています。	当事業所では、公式LINEを使用しております。公式LINEのリッチメニューから、各種マニュアルを見られるように、現在すすめており、年内を目途に実施予定です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			5		避難訓練などの実施日のお知らせは行っておらず、Facebookや「じらふたより」で訓練実施の報告などを行っております。
	25	事業所より、ごどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1		
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	14					
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1		2	・イベントや普段家ではできない体験を楽しんでいる様子です。 ・きけないので、わかりません。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				・長期休みは特に楽しみにしていると思います。 二コ二コして帰ってくるのを見ると満足してると思います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障がい児者余暇生活支援センターじらふ・泉北		公表日 2025年10月16日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・1階、2階があり自由に行動が出来る様になっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・法的には足りているが、もう少し充実させたい。	・曜日によってスタッフが少ないと思うことがある。現場状況と制度（10対2）がそもそもあっていない。 ・男児利用者様が多いですが男性スタッフが少ないのと、曜日によりスタッフが不足と感じます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・階段はある。 ・わかりやすく構造化はされている。 建物には階段がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・1階、2階と別れて活動が出来る様になっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1		・法人としては査員2名配置している。 ・第三者による評価は設けている。	・じらふ泉北は評価委して頂いていない様です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・積極的に開催されている。 ・部署内でも研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・親ニーズも強いときがある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・シートは使っているが、発達検査は行えない。	・人手が余っており、利用者人数が少ない時にしている。（たまに）そもそも、そんな日はなかなか来ないので無理。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・「移行支援」以外の支援内容に盛り込まれている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・みかん狩り等企画イベントを行っています。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・通常の調理、工作や外出の買い物、夕食、季節のイベント、縁日遊びや初詣等行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個別課題、PECS、おやつ作り等を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・引継ぎノートを作り、出勤時間の違う職員に伝える。 ・ホワイトボード、ノート等で共有している。 ・パートの時間があわずで、ホワイトボード、ノートを活用、直接確認も行っています。	・時間がない時はできていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・振り返りノートをつくって活用している。 ・振り返りは職員が全員揃うのが難しいので、振り返りノート等使用している。 ・ノートで共有している。 ・引継ぎノートに書いている。 ・退勤が早い為打ち合わせに出られませんが、気付いた事は責任者に伝える様にしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・最低年2回は行っている。 ・必要最低限。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・①自立支援動作の活動②創作③地域④余暇活動 ・子ども食堂など。 ・個別、集団でその児童さんに合った支援を提供しています。	・そもそも4つの基本活動を知らないのもっと詳しく教えて欲しい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・絵カードを使用したPECSを導入している。 ・PECSで伝えてもらっている。 ・PECSを活用し自発的に発信できる様支援しています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・実際はあまり医療と連絡をとる機会がない。 ・分かりづらい。 ・支援学校（小学、中学部）の学校見学をさせてもらっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・交換はしていない。 ・行事予定等の交換？ ・デイの行事予定等の交換は出来ていませんが、支援学校との連携は取れています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	・相談員、保護者からの聞き取り中心。 ・保護者からの聞き取りが主。 ・保護者から聞き取っている。 ・親から情報を得ている。 ・保護者、計画相談さんから聞き取りを行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・事業所に直接はないが、相談員さんとの引継ぎはしている。 ・相談員さんを通じて行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		・児童発達支援センターからのアプローチも何もない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・地域住民の方のみ交流ありex)子供食堂、外遊びなど ・公園等で交流することがある。	・児童館がまずありません。子ども食堂や公園等で地域のこどもも触れ合う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5	・政府指定都市のくせに子供部会がない。 ・参加したくても、まだ、何も部会がない。	・参加したいと言っているが、堺市が参加させてくれないらしい。 ・参加したくても出来ない状況だそうです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			

保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PECS同好会、研修等のお知らせ。</li> <li>・PECS同好会。</li> </ul>	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・90分－2時間をかけ説明聞き取りを行っています。</li> </ul>	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし、子どもの同席は原則行っていない。</li> <li>・子ども同席はなかなかできないが、会話の中で聞き取っている。</li> </ul>	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一回の見直しと必要に応じて行っています。</li> </ul>	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟児は行っていない。</li> <li>・堺PECS同好会が保護者交流の場となっている。</li> <li>・PECS同好会にて交流。</li> <li>・PECS同好会がある。</li> <li>・あれば丁寧に対応行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PECS同好会での交流を行っている。兄弟同士で交流は出来ていない。</li> </ul>
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSで写真の顔出しを事前にアンケート作ったり、デイ中利用者様の話をする時は大きな声は控える。</li> </ul>	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインを活用し連絡帳や月1回お便り配布しています。</li> </ul>	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引っ越し後は出来ていません。</li> </ul>
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし、マニュアルは概要を知らせているのみ、公式ラインリッチメニューを活用しようと検討中。</li> <li>・一部周知。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルはあるが完璧に動けるわけではない。</li> </ul>
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・缶詰を使い1品調理を行った。</li> </ul>	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし、予防接種は把握していない。</li> <li>・予防接種は確認していない。</li> <li>・予防接種を確認した事はないですが、インフル、コロナ等接種時連絡帳に記入してくれています。</li> </ul>	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーの方が現在おられない。</li> </ul>	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作ってはいるらしい。</li> <li>・必要に応じて行われています。</li> </ul>	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知が出来る様検討。</li> </ul>
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデント用紙、ノートに記入し、具体的に防止策を伝えてもらっている。</li> </ul>	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年行っています。</li> </ul>	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし、少しざっくりとした表現で記載。</li> <li>・備考欄に。</li> <li>・特記事項に、必要に応じて。</li> </ul>	